



バリアフリー推進レポート



広島大学の学生を対象にバリアフリー教室を開催！

中国運輸局では、「障害の社会モデル」※₁「心のバリアフリー」※₂の啓発とその理解を深めることを目的として、バリアフリー教室や各種啓発活動を継続的に実施しています。

このたび**道の駅西条のん太の酒蔵**において、「障害の社会モデル」や「心のバリアフリー」に対する理解を深めていただくことを目的として、広島大学の学生を対象に、**高齢者や障害者、妊婦等といった移動に制約のある方の目線による「道の駅のバリアフリー施設見学」と「バスやタクシーの利用体験」、「障害の社会モデルをテーマにしたディスカッション」**を実施しました。

※1 「障害」は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である、とする考え方。

※2 すべての人々が、お年寄りや障害者等の立場を相互に理解しようと相手の気持ちになって考え、コミュニケーションをとり、行動し、支え合うこと。



ノンステップバス (芸陽バス株式会社)

ノンステップバスとは・・・

床面を超低床構造として乗降ステップをなくし、高齢者や児童にも乗り降りが容易なバス。エアサスの車高調整によりスロープの傾斜を緩和することで、車いすの方の乗降もしやすい車両です。



ユニバーサルデザインタクシー (株式会社東広島タクシー)

ユニバーサルデザインタクシーとは・・・

健康な方はもちろんのこと、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい「みんなにやさしい」新しいタクシー車両です。

バリアフリー教室 in 道の駅西条のん太の酒蔵

【開催概要】

- 日時：令和5年11月16日（木）13:15～15:20
- 場所：道の駅西条のん太の酒蔵
- 参加者：広島大学の学生
- 主催：国土交通省中国運輸局・中国地方整備局
- 協力：国立大学法人広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構
芸陽バス株式会社 株式会社東広島タクシー 道の駅西条のん太の酒蔵 東広島市
- 内容：
 - (1)道の駅の防災、バリアフリー等に関する説明
 - (2)当事者目線による施設見学・バス、タクシーの利用体験
 - (3)グループディスカッション ～気づきにくい身近な社会的障壁とその取り除き方～

《教室の様子》



「障害の社会モデル」「心のバリアフリー」
の説明



道の駅の意義や
防災基地としての役割等の説明



道の駅の地域連携施設や
情報発信施設等の説明



思いやり駐車場の説明
(適正な利用の推進)



車椅子を用いた乗車体験
(スロープや車椅子用座席の説明)



高齢者疑似体験装具による乗車体験
(エアサスによる車体傾斜や車内設備の説明)



ユニバーサルデザインタクシーの説明
(配慮が必要な方に対する接遇等)



妊婦疑似体験装具着用中

子ども連れの妊婦を想定した乗車体験
(接遇・ベビーカーの折りたたみ等)



グループディスカッション
(気づきにくい社会の障壁とその取り除き方)

《ディスカッション内容※一部抜粋》

- ・「この人は障害者である。配慮が必要。」と思うこと自体が意識上の障壁になっている。
→「**障害の社会モデル**」の普及が重要となる。
- ・具体的にどういった介助が必要なのか口頭で説明するのは、難しいのではないか。
→**心身の不自由に対する理解を深める。**
社会全体に対するヘルプマークの普及。

《広島大学 山本准教授による講評》

「障害の社会モデル」「心のバリアフリー」を知っているか否かで、物事の見方は変わる。すると社会全体も変わっていく。今回のように「当事者目線」で社会を体験・観察することで、そういったことに対する理解はより一層深まる。